

報 告

—【ふるさと・棚田支援事業】 丹後農業研究所と共催—

丹後・棚田フォーラム

『棚田のいま、これから、…』を開催！

要 旨

これまで丹後地域でも、地元と都市住民、行政や大学などが連携しながら、棚田の保全や復活の取り組みを進めてきました。このたび、その経験を検証し、過疎・高齢化が進む中で、どのような課題があるか、どのような視点を持ったらよいか、などを探るために、「丹後・棚田フォーラム『棚田のいま、これから、…』」を開催しました。

あいにくの雪の降りしきる中、会場いっぱいの参加者は熱心に講師の話に聴き入り、意見を交わして、棚田に象徴される「農村や農業を守ること、地域に生きること」の意味をあらためて問いただしていました。

参加者のほとんどの人が、引き続き開催して欲しいとの感想を寄せていました。

【 概 要 】

○日 時：平成22年2月4日（木）午後1時～午後4時30分

○場 所：京都府丹後農業研究所講堂

○参加者：80名

■講 演

①アジアの中山間地農業から棚田農業と日本の保全活動を考える

〔講師〕安藤和雄（京都大学東南アジア研究所准教授）

②丹後の棚田における「こなわ・かんだ」の役割

〔講師〕中村均司（丹後農業研究所所長）

■報告

①上世屋における棚田復活と稲作の取組

〔講師〕井之本泰（合力の会 代表）

②新井千枚田での「都市農村交流」稲作と棚田保全

〔講師〕福満敏博（伊根と新井の千枚田を愛する会 代表）

■パネルディスカッション『棚田のいまとこれからを考える』

〔コーディネーター〕中村貴子（京都府立大学生命環境科学研究科助教）

フォーラム写真



会場はいっぱいの人...
興味深そうに耳を傾ける



パネルディスカッションでは、さらに掘り下げて議論...



講師・コーディネーターの皆様



会場参加者からも質問や意見が...



安藤和雄准教授



中村均司農研所長



井之本泰合力の会代表



福満敏博
伊根と新井の千枚田を愛する会代表



中村貴子助教

